



国立研究開発法人科学技術振興機構（JST） 社会技術研究開発センター（RISTEX） 公開シンポジウム

～エビデンスに基づく発達障害支援をみんなで考える～

11月26日(日)
10:15～12:30
(開場10:00)

東京・お台場
テレコムセンタービル
8階 会議室B

入場無料

研究成果や、さまざまな場面におけるとりくみのご紹介と、有識者によるパネルディスカッションを行います。



外岡 資朗
鹿児島県子ども総合療育センター 所長



熊 仁美
特定非営利活動法人
ADDS 共同代表



山野 則子
大阪府立大学大学院
教授



神尾 陽子
国立精神・神経医療
研究センター 部長



船曳 康子
京都大学大学院
准教授

RISTEX 社会技術研究開発センター
Research Institute of Science and Technology for Society

サイエンスアゴラ2017キーノートセッション
RISTEX公開シンポジウムのご案内

うちの子、少し違うかも・・・
～エビデンスに基づく発達障害支援をみんなで考える～

子どもの発達障害支援についての最新の研究やとりくみの紹介と、有識者によるパネルディスカッションを通して、一緒に考えてみませんか？

発達障害児とその保護者・家族等に対して、エビデンス（科学的根拠）や科学的知見に基づきながら、従来の垣根（制度・支援機関、地域的制約、固定観念など）を越えた支援が適切に提供され、誰もが多様で豊かな人生を送ることのできる社会を形成していくために、家庭・学校・地域・行政等における支援のしくみや最新のとりくみを紹介しながら、様々な支援の場面に横たわる障壁を乗り越え、改善していくための具体的方法について、分野・領域を超えて考えます。

昨年度実施のシンポジウム第2弾です。前回お越しの方も、今回初めての方も、お誘い合わせの上ぜひご参加ください。

対象：

- ・発達障害療育・子育て支援等に携わる方（医療・福祉関係等）
- ・学校・教育機関関係者の方
- ・行政（国・地方自治体）関係者の方
- ・発達障害児支援に関心をお持ちの一般の方、保護者・ご家族の方

入場無料

神尾 陽子（国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター 児童・思春期精神保健研究部 部長）

船曳 康子（京都大学大学院人間・環境学研究科 准教授）

山野 則子（大阪府立大学大学院人間社会システム科学研究科 教授/スクールソーシャルワーク評価支援研究所 所長）

熊 仁美（特定非営利活動法人ADDS 共同代表） ※パネルディスカッションモデレーター

外岡 資朗（鹿児島県子ども総合療育センター 所長） ※パネリスト

日時

11月26日（日） 開演 10:15（開場 10:00）

10:15～11:15 講演 / 11:15～12:30 パネルディスカッション

会場

テレコムセンタービル（東京・お台場） 8階 会議室B

東京都江東区青海二丁目5番10号

新交通ゆりかもめ

「テレコムセンター駅」直結

東京臨海高速鉄道りんかい線

「東京テレポート駅」下車 徒歩19分



・家庭・学校・地域等における発達障害の支援場面における課題を改善していくための具体的なとりくみ・研究成果等についての情報提供・共有や議論などが今回のおもな内容となります（個別の症例・治療対応等をテーマとしたものではありません）。

・下記ウェブサイトから事前登録を受け付けております（定員に達し次第締め切ります）。空席状況により当日のご参加も可能です。

・RISTEX（リステックス）では、「社会のなかの科学・社会のための科学」の理念のもと、社会の具体的な問題の解決を目指す研究開発を推進しています。

